

第5回 バイオマス活用推進会議 議事概要

日時：平成24年9月6日（木）午前 10:00～10:40

場所：農林水産省第1特別会議室

出席者：内閣府 大臣官房 中野審議官（園田大臣政務官代理）
総務省 稲見大臣政務官
文部科学省 神本大臣政務官
農林水産省 佐々木副大臣、針原食料産業局長
経済産業省 北神大臣政務官
国土交通省 津島大臣政務官
環境省 高山大臣政務官 他

概要：

7府省合同の有識者会議であるバイオマス事業化戦略検討チームがとりまとめた「バイオマス事業化戦略（案）」について議論が行われ、決定された。

（佐々木農林水産副大臣開会挨拶）2030年におけるエネルギー・環境に関する選択肢に関する国民的な議論が行われ、今後、政府一体となって、再生可能エネルギーを大幅に拡大していくことが求められている。

また、バイオマスの活用については、広く薄く存在する資源の安定確保などの課題を克服し、間伐材、食品廃棄物、下水汚泥などの地域資源活用による再生可能エネルギーを生産し、地域の雇用創出や産業振興、活性化につなげていくことが求められている。

地域バイオマス活用の産業化は、「日本再生戦略」の「グリーン成長戦略」と「農林漁業再生戦略」の中に位置付けられているところであり、事業化戦略（案）の基本的考え方は、「産業化・事業化」をキーワードに、7府省が連携し、地域の産業として成り立ち、地域の雇用創出と活性化につながる成功事例を生み出していくこと。忌憚のないご議論をお願いしたい。

（稲見総務大臣政務官）3月11日の大震災、原発事故を受け、福島は再生エネルギー活用への思いが強い。総務省の緑の分権改革事業で福島県富岡町において、帰宅困難地で菜種・ひまわりの栽培とバイオディーゼル燃料の製造実証を実施することにより、除染と農地維持を図っている。飯館村では、中間貯蔵施設を造るため木を伐採し、その木をバイオマスとして利用することを考えているが、セシウム処理が問題となっている。バイオマス活用は震災復興とも関係するので、復興庁との連携も必要。

（北神経済産業大臣政務官）バイオマス発電は農業・林業のサイドビジネスの面があるが、事業として発展させる必要があるとあり、持続可能性を確保するためには、国の戦略として小規模乱立でなく集中統合を進めていく必要。

- (野津山バイオマス循環資源課長) 本戦略のキーワードは事業化・産業化。これまでのバイオマス活用は市町村主体であったが、事業として成立するためには、広く資源を集める必要があるため、市町村の枠を越えて、民間事業者の協力も得て取組を進める必要。
- (佐々木農林水産副大臣) かつてバイオマスタウン構想を推進したが、実際には構想だけの例もあった。これを具体化するために本戦略を検討してきた。各省連携で事業として成り立つ具体例をつくることが重要。
- (北神経済産業大臣政務官) 再生可能エネルギーの固定価格買取制度を進めている。福島県のグリーン発電会津をバイオマス発電の第1号として設備認定したところ。他にも候補が出てきているので、しっかりと進めていきたい。予算ではバイオディーゼル燃料の生産システム構築で農水省と連携事業を要求することとしている。また、農水省と環境省と共同でバイオディーゼル燃料の混和分の軽油引取税の減税を要求することとしているところ。
- (神本文部科学大臣政務官) 文科省では研究・技術開発に取り組んでいる。産学官の連携により、基礎から実用化まで一気通貫の未来開拓型の研究開発を進めることが重要。今週、科学技術振興機構などが国際シンポジウムを開催しており、バイオ燃料の事業化を議論。国際的なバイオマスの過度の開発は、森林伐採等の環境問題や食料との競合問題などに影響を及ぼすので、社会システムを俯瞰しながら全体的な評価を視野に入れることも必要。
- (野津山バイオマス循環資源課長) 海外戦略でアジアの持続可能なバイオマス活用システム構築を提示。キーワードは持続可能性。国内で技術やビジネスモデルを構築し、それをもとにアジア等で展開していくが、まずはその地域で利用し、余剰があれば日本に開発輸入することも重要との方向性を整理いただいている。
- (佐々木農林水産副大臣) 2年ごとに技術ロードマップを改訂するので、その際に持続可能性も踏まえ評価していく。
- (津島国土交通大臣政務官) 下水汚泥のバイオガス利用等に取り組んでいるが、更に積極的に進めていきたい。
- (佐々木農林水産副大臣) バイオマス事業化戦略の具体化にとって予算・税制の確保は重要。中でも、バイオマス産業都市は、7府省が共同で地域を選定し、それぞれの施策を持ち寄って連携して支援する初めての試みであり、全力を挙げて予算獲得に取り組んでまいりたい。来週以降、財務省等との折衝が始まるが、各府省におかれても、予算獲得に向けてご尽力いただきたい。

以上